

スペイン語話者による日本語多義的形容詞への認識に関する
一考察 - 教材開発の試みを通して -

西内沙恵 (立教大学大学院生)

A Study about Recognition of Some Japanese Polysemous Adjectives
for Spanish Speakers - Through a Trial of Materials Development -

Sae NISHIUCHI (Rikkyo University, Graduate School)

キーワード： 多義語, 意味拡張, 転移, 独習用教材

Keywords : Polysemous Words, Semantic Expansion, Transfer, Learning Material for Self-Study

SUMMARY

Yamashita and Okada (2012) reports that amidst various vocabulary learning materials being developed, there are few that focus on polysemous words, despite it being possible that doing so would influence the efficiency of vocabulary acquisition. This study investigates the response of learners to a Japanese vocabulary learning material that includes descriptions of the semantic expansion of polysemous words to consider the usefulness of learning aids.

1 はじめに

外国語学習において既習の多義語の未習の意味に遭遇したとき、未習の意味であることに気づくこと、及び未習の意味を推測することが正確な解釈のために求められる。これらの能力を語感と捉えると、現実に語感がいいと言われる学習者の存在がある一方で、そうではない学習者も存在する。語感の優れた学習者とそうでない学習者の語彙習得の達成度の溝を埋めるためには語感の良い学習者以上の言語接触の機会を獲得する必要があると言われるが、

語感の優れた学習者以上の学習時間を永遠にかけ続けなければならないわけではないだろう。その根拠は方略が熟達し得るものであると考え、教育的介入が可能であるとするところにある。効率的な語彙学習への方略の獲得につながる、語彙学習の成長を促すサポートの役割が、語彙学習教材に望まれる。本稿では西内 (2015)でスペイン語話者を対象に実施された調査から、日本語の多義的形容詞への意味解釈に不正確な点が観察され、かつ対象の日本語形容詞と中心義が対応するスペイン語形容詞の多義的特性が日本語形容詞の意味解釈に活かされていない場合があったことから多義的形容詞に関する学習にその発展の可能性と必要性があるものと考え、いくつかの多義的形容詞を学習項目に設定した独習教材を作成し、その使用感を2名の被調査者に問うたアンケートを質的に観察した結果を報告する。

2 多義語学習教材の現状

山下・岡田 (2012)では日本国内で1990年以降に出版された178の主に語彙学習が目的の日本語学習教材が分析されている。分析対象の教材の中には、語彙教材の側面も併せ持つ文字教材も含まれている。山下・岡田 (2012)では学習項目である語彙の種類を大別した上で、語彙のどの側面に焦点を当てたものかが分析されている。最も多かった教材のタイプとして、意味の関連性によって分類しているトピック形式のものが報告されている一方で、同じ意味の分類であっても、多義語、類義語、また対義語を取り上げている教材は少なかったとされている。加えて山下・岡田 (2012)では、様々な語彙学習教材が開発される中、多義語を主題として扱う教材に語彙獲得を促進する効果の可能性もあるにもかかわらず、教材数が少ないとされている。このことから多義語に特化した教材の開発には意義があると考えられる。なお、荒川 (2011)、森山 (2011)及び今井 (2011)など多義語を題材とした有用な辞典はすでに存在している。

2.1 日本語教育におけるスペイン語話者を対象とした多義語学習教材の必要性

本節では本研究の被調査者として特定したスペイン話者の日本語学習者について記述する。現在、日本語の語彙学習教材は日本語のみで構成されている教材が主流であると言えよう。ただし、漢字を中心とした文字習得を狙いとした教材や英語を媒介語に開発されているもの、一部の訳として英語や中国語で構成されたものも多い。なお、教材は出版されているもの以外にも学校や教室で個別に開発され小規模に使用されている教材は数多くあると考えられるが、ここでは扱わない。様々な学習教材が開発される中、スペインが媒介語として使われて

いる辞書や教材は『みんなの日本語』のスペイン語版、多言語 web 辞書『チュウ太』などがある。文法書を含めても、その数はやはり多くないと言えよう。なお、現在スペイン語が公用語として話されている国はプエルトリコも含めた 21 カ国であり、ある統計¹では公用語以外にスペイン語が話される国として 44 カ国を数えている。一つの言語として数えられているものの、さまざまな国及び地域で話される言語の場合、離れた地域間では言語間に異なる諸相が観察されるが、本研究ではスペインの学習者を被調査者とし、地域ごとのバリエーションの可能性は大きく扱わないこととする²。

3 多義語独習教材の開発の試み

前章で触れた多義語を題材とした辞書は大変有用なものであり、これらの辞書の語義解説に学習者の多義語習得に焦点を当てたいいくつかの配慮を練習問題として加える形を取った教材の有用性を検討したい。多義語独習教材の作成を試みる上でどのような問題形式を取ることが望ましいか、以下の先行研究から考察する。

Nation (2001)では第二言語学習において語の意味の学習が第一言語習得の場合とは異なる方法で行われるべきであるとされていることから、学習者の語彙学習方略³の育成に向けて教育的介入は必要で、それによる促進の可能性が伺えるが、ハンガリーの初級日本語学習者の語彙知識における量的側面を受容と産出、それぞれに関わる語彙学習ストラテジーにどのような傾向が見られるかを探り、それらの相違を明らかにしようとする橋本 (2007)では、日本語学習において第一言語習得で用いられる語彙習得方略が支持されていたことが明らかにされた。調査はアンケート及び語彙テストで構成されており、被験者はハンガリーの商科大学及びデブレツェン大学で日本語を1年ほど学び『みんなの日本語 I』の半分程 (12 課)を修了した 23 名である。調査結果の分析としては、語彙サイズテストとビリーフと方略の相関係数が求められ、受容語彙テストと産出語彙テストをそれぞれ従属変数として重回帰分析を行ない、ビリーフと方略の傾向から語彙テストの得点の予測がなされている。産出語彙テストの結果の分析からは、語彙は文脈から習得されるべきであるというビリーフと文脈的な記憶方略及び活性化の方略の相関関係が確認された。一方、受容語彙テストの結果の分析からは、語彙は文脈から習得されるべきであるというビリーフと文脈的な記憶方略との相関が観察されたとしている。加えて、産出語彙テストを従属変数としたとき、独立変数の記憶方略が有意な予測力を持っており、受容語彙テストを従属変数としたときは有意な予測力を持つ独立変数は見られなかったことが観察された。橋下 (2007)では多くの先行研究がメタ認知方略と

学習の成功との関連を示すものであるのに対して、調査結果から選択的注意やメタ認知規則との関連が見られなかったとしている。その要因として、初級という学習段階が関与している可能性を考えている。この調査結果から、初級に属する熟達度の学習者にはキーワード法や語呂合わせなど、特別な認知的方略を用いることが望まれるにもかかわらず、認知的な方略の使用は目立たず、初級の段階の外国語学習者は母語習得的な学習方法や機械的な暗記といった効果の見えにくい方略に傾倒しがちなビリーフを持っていることが伺えた。さらに、語彙は文脈から習得されるべきであるというビリーフが有効であると認識している学習者が多かった要因は、第一言語習得で行われる文脈からの推測を通じた偶発的な語彙学習が第二言語学習においても有効だと考えているためだと考えられ、第一言語習得で用いられる語彙習得方略が支持されていたことが明らかとなった⁴。ただし、橋下 (2007)は語彙の量的側面に注目した研究であるため、本研究で着目する多義語の意味という語彙の質的側面への学習と方略との関係は橋下 (2007)の調査結果と必ずしも類似するとは言えない。加えてハンガリーで学ぶ学習者を対象とした研究であり、得られた調査結果があらゆる学習者に適応されるわけではない。しかしながら、学習者の使用言語を特定した上で語彙の学習と用いられやすい方略が調査された、本研究に大変有用な示唆を与えてくれる研究である。

4. 多義語独習教材の試用調査

筆者作成の独習教材 (付録 1)を用いて多義語学習の教材に対する反応を調査した。教材は学習者の母語であるところのスペイン語と目標言語の日本語で中心義⁵が対応する多義語が有する意味領域のズレを明示的に提示し、練習問題を掲載したものである。なお、スペイン語話者を対象に多義的日本語形容詞「高い」「近い」「遠い」「低い」「広い」についての意味を問う西内 (2015)の調査から、日本語の多義的形容詞への意味解釈に熟達度別の傾向が観察されなかったことから練習問題は熟達度に対応させる形式では制作していない。

4.1 調査目的

西内 (2015)の調査結果から学ばれにくいことが観察された語義の習得を促すことを目的に、多義語の意味を明示的に提示し、バリエーションのある練習問題を通じた多義語学習に対して学習者がどのような反応を示すのか、加えてどのようなタイプの問題形式に肯定的な印象を持つのかを調べる。

4.2 調査方法

被調査者に筆者作成の独習教材(付録1)の試用を1週間以内を期限に依頼した、後日独習教材への印象を問う質問紙に回答してもらった。なお、やりとりは全てメールで行っている。

4.2.1 被調査者

西内(2015)で意味への解釈についての調査に参加してくれた、バルセロナ自治大学で日本語を学ぶ学生に調査協力を依頼した。調査に協力してくれた被調査者は2名であり、以降被調査者C、被調査者Rとする。被調査者Cは19歳の女性であり、カタルーニャ語とスペイン語のバイリンガルである。バルセロナ自治大学で日本語学習歴は2年のみであるものの、自己評価を中級の後半としていた。なお、日本語能力試験での取得級はなく、日本に訪問したことはない。日本語以外の外国語学習歴としては、英語を初等教育から現在に至るまで、フランス語を2年間、ドイツ語を4年間学んでいる。被調査者Rもまた19歳の女性であり、カタルーニャ語が母語であるとしている。熟達度の自己評価は初級から中級としている。彼女もまた2年間の日本語学習歴を経ており、日本語能力試験の取得級はない。ただし日本訪問歴が1度あり、2013年の秋に2ヶ月に渡り日本に滞在している。日本語以外の外国語学習歴としては、英語とドイツ語を中等教育と高等学校で学んでいる。

4.2.2 材料

独習教材(付録1)は多義語の意味を様々な問題形式で問うものである。練習問題の他には日本語形容詞と対応のスペイン語形容詞の意味の重なりをイメージしやすいようベン図で示し、表で具体的な例とともにそれぞれの言語が有する意味と有さない意味について明記している。形容詞の補足説明のためにポイントという項目名でコラムも設けている。練習問題は5つの形式に則って作成しており、1つの形容詞につき3つの形式の問題を設けた。形式は1つ目に200字から460字程度の読解文中の形容詞表現の意味を書く問題、2つ目に日本語としての正誤を問う問題、3つ目にある形容詞句もしくは文の意味と同じ意味で使われている形容詞句もしくは文を選択する問題、4つ目にスペイン語文を日本語に訳す問題、5つ目に、そして絵を見て作文する問題で構成している。

多義語独習教材の試用感を問う質問紙は次の3項目で構成している。まず、被調査者自身について問う質問として、どうして日本語を勉強しているのかを問うた。選択肢として、仕事のため、アニメやマンガ、小説を楽しむため、そしてそれ以外の理由のためにその他とし

て自由記述の欄を設けている。加えて被調査者の日本語学習における経験を問う質問として、普段どのような辞書を使っているかを問うた。複数選択を可能とし、授業でおすすめされたもの、授業で使う単語帳、自分で選んだ辞書、そしてその他として自由記述の選択肢を設けた。併せてそれぞれの選択肢に該当の書籍の名前を書く欄を備えている。次に、試用してもらった独習教材について問う 8 つの項目質問に対して 1 「全くそう思わない」、2 「あまりそう思わない」、3 「そう思う」、4 「非常そう思う」の選択肢から選んでもらい、また選んだ理由を自由に記述する欄を設けた。1 つ目の質問では試用した独習教材が使いやすかったかどうかを、2 つ目の質問では独習教材がおもしろかったかどうかを、3 つ目の質問では独習教材を継続して使いたいかどうかを、4 つ目に独習教材の練習問題が難しかったかどうかを訪ねた。5 つ目の質問では、そう思うか思わないかの度合いの異なる 4 択からではなく、独習教材で設けた様々な形式の練習問題のうち、「読解問題」、「〇×問題」、「選択問題」、「意味を書く問題」、「作文」の中でどの問題形式がやりやすかったかを、6 つ目の質問ではどの問題形式が役に立ったかを選んでもらった。7 つ目の質問では、独習教材が有用だったかどうかを再びそう思うか思わないかを 4 択から選択してもらった。最後に 8 つ目の質問として独習教材について思ったことを自由記述の形式で問うた。

4.2.3 調査結果

被調査者から得られた回答を結果は以下の通りである⁶。

被調査者の学習について問う設問、(i) どうして日本語を勉強しているのか

C: その他の項目を選択 : *Porque forma parte de mis asignaturas universitarias y es esencial para terminar mis estudios y, posteriormente, trabajar* ((日本語を勉強することが)大学の教科の一部を構成しており、修了するために必須だから。また、後々には仕事のために。)

R: その他の項目を選択 : *por interés en la cultura japonesa y deseo de poder realizar estudios allí en un futuro* (日本の文化への興味及び、将来的に日本での学業を実現させたいと考えているため)

(ii) 普段どのような辞書を使っているのか

C: 授業でおすすめされたもの : *hay varios de ellos, pero denshi jisho es uno de ellos.* (色々な辞書があるが、電子辞書はそのうちの 1 つだ。)

R: 自分で選んだ辞書 : *diccionario online* 「電子辞書」

試用を依頼した独習教材について問う質問には次のように回答してくれた。

材料について問う設問、(1) 独習教材が使いやすかったかどうか

C: 3 「そう思う」: En algunos contextos es fácil porque se parece al español, pero en otros cuesta un poco de utilizar. (いくつかの文脈においてはスペイン語と似ているため簡単だったが、他のいくつかの文脈では(表現を)利用するのに少し負担だ(から)。)

R: 3 「そう思う」: la explicación en forma de tabla comparativa es de fácil comprensión. ((意味を)比較した表を用いた説明は理解が容易だ。)

(2) 独習教材がおもしろかったかどうか

C: 4 「非常にそう思う」: Fue interesante porque pude aprender más sobre esos adjetivos y algunos aspectos de su uso que no tenía demasiado claros inicialmente. (形容詞と最初はあまりはつきり分からなかったいくつか使用の局面についてより学ぶことができ、おもしろかった。)

R: 3 「そう思う」: descubrí que en muchas ocasiones he utilizado mal esos adjetivos en japonés. (色々なときに日本語形容詞を間違っ用いていたことが分かった。)

(3) 独習教材を継続して使いたい

C: 4 「非常にそう思う」: Al menos al principio es muy útil para cometer cada vez menos errores cuando uno debe escribir en japonés. (少なくとも、日本語を書かなければならないとき犯す間違いを少しでも減らすために、はじめはとても有用だ(から)。)

R: 3 「そう思う」: estudiaré de las tablas para poder obtener un mejor conocimiento. ((多義について)より良い理解を得るために(意味の)表から勉強する。)

(4) 独習教材の練習問題が難しかったかどうか

C: 3 「そう思う」: Algunos fueron un poco desconcertantes, pero no diría que fueron difíciles. (いくつか(の練習問題)は少し困惑させられるものだったが、難しかったとは言わない。)

R: 未選択: Creo que el nivel es adecuado a las explicaciones previas a los ejercicios. (練習問題に先立つ説明はレベルに合っていると思う。)

(5) 5つの問題のうち、どの問題形式がやりやすかったか

C: 4 「読解問題」: Creo que me resultó más fácil entender el significado de las palabras al estar en contexto, pero no sé si están bien las traducciones así que es difícil de saber. ((正解しているかどうか)知るのが難しいので(自分の理解に)問題ないかどうか分からないが、文脈の中に言葉がありその意味を理解しやく感じた。)

R: 2 「〇×問題」: 理由についてのコメントはしていない。

(6) 問題形式の中でどの問題形式が役に立ったか

C: 2 「○×問題」: Saber por separado si algunas combinaciones son correctas luego ayuda a usarlas cuando van en un texto, si bien la opción cuatro también me pareció muy útil porque el contexto ayuda a ver más claramente su uso. ((文脈から)離れていくつかの(名詞と形容詞の)組み合わせが正しいか正しくないか知ることは、後でテキストに現れたとき(組み合わせの知識を)使うのに助かる。4 つ目の「意味を書く問題」も、文脈がよりはっきりとその用途を見るのを助けてくれるためとても有用だと思ったけれども。)

R: 「○×問題」: その理由については記述していない。

(7) 独習教材が有用だったか

C: 4 「非常にそう思う」: Como he dicho antes, si ayuda a aprender todo es útil. (先にも述べたように、学ぶことを補助してくれるなら全て有用だ)

R: 4 「意味を書く問題」: son adjetivos que aparecen frecuentemente en las conversaciones cotidianas y creo que es importante saber cómo utilizarlos. ((扱われている形容詞は)日常会話で頻繁に現れる形容詞であり、どのように用いられているかを知ることが重要だと思う。)

(8) 独習教材について思ったこと

C: Fue una buena forma de poner a prueba mis conocimientos de japonés y también de aprender un poco más sobre algunos aspectos que parecen complicados del idioma. (自身の日本語の知識を試し、また言語の複雑に見えるいくつかの側面について少し学ぶのにちょうど良かった。)

R: Creo que es muy útil para nosotros, puesto que en clase no se para mucha atención a estos detalles y que si aprendemos los matices es tan solo mediante errores que cometemos en conversaciones con japoneses sin entender el porqué. Ha sido muy instructivo para mí, y por lo tanto creo que también lo ha sido para los otros estudiantes. (授業ではこのような細部にはあまり注意が払われず、微妙なニュアンスを学ぶときは日本語での会話において訳も分からず間違いを犯す場合ぐらいなので、私たちにとってとても有用だと思う。(独習用教材は)私にはとてもためになったし、他の学生にとってもそうなると思う。)

4.3 分析と考察

好まれやすい問題形式のタイプとしては、やりやすかった問題形式として「読解問題」「○×問題」が、役に立った問題形式としては「○×問題」が選択されており、教材の使用者の

ニーズに合う問題形式として「○×問題」が挙げられる。その他、得られた回答から今回調査に協力してくれた日本語学習者に多義語を主題に扱う独習教材はおおむね肯定的な印象を持ってもらうことができた。Rの試用した独習教材が使いやすかったかどうかを尋ねる質問に対する *la explicación en forma de tabla comparativa es de fácil comprensión.* (意味を比較した表を用いた説明は理解が容易だ) という回答から、スペイン語話者にとってスペイン語と比較した目標言語の意味の解説には肯定的な印象を持たれる可能性があると思われる。また、独習教材がおもしろかったかどうかを尋ねる質問に対して *descubrí que en muchas ocasiones he utilizado mal esos adjetivos en japonés.* (色々なときに日本語形容詞を間違えて用いていたことが分かった。) という記述があったことは教材の試用が誤用に気づくきっかけとなったことを示唆している。その他、*Fue una buena forma de poner a prueba mis conocimientos de japonés y también de aprender un poco más sobre algunos aspectos que parecen complicados del idioma.* (自身の日本語の知識を試し、また言語の複雑に見えるいくつかの側面について少し学ぶのにちょうど良かった。) というCの独習教材についてのコメントから、教材の使用を通して多義語の困難面に気づく他、その多義語使用の経済性と効率性にも目が向けられる機会となることから教材が有効に活用される可能性が示唆される。調査協力者は少数であるが、本調査で得られた教材へのコメントから、彼女たちが教材に対して比較的肯定的な印象を抱いた他、基本語彙である多義的形容詞を学ぶことの有用性を感じてくれたことが見て取れた。

謝辞

調査へのご協力を快諾して下さったスペインのバルセロナ自治大学の福田牧子先生に、末筆ながら心からお礼を申し上げます。

注

¹ SILによるスペイン語が話されている国・地域の数の統計調査に基づく。

² 西内(2015)で扱った5つの形容詞においては明確な地域差が確認されなかった。

³ Oxford(1990)では、ビリーフに関しては変化を求めにくいものの方略に関しては教材などを用いて介入することが可能ではないかと考えられている。すなわち、教材を通して様々な問題形式を提示することで語彙を文脈から習得しようとする文脈的な記憶方略以外の方略を利用することにも学習者の目が向けられることが期待される。

⁴ 文脈から切り離された語の学習は単語の記憶想起の支援にならないとする批判もあるが、本稿ではその議論は扱わない。ただし、Nation(2001)では文脈からの語彙学習と文脈を離れた学習とが相互補完的な学習法であると述べられており、多様な学習方略を有することで学習の幅を広げることが期待される。

⁵ <場所>形容詞という観点から、中心義は距離について表す意味にあると考え、日本語形容詞に対応させるスペイン語形容詞も距離を表す意味を有するものを選択している。

⁶ 回答のスペイン語文に対応する日本語は全て筆者の拙訳である。

参考文献

- Kellerman, E. (1979). Transfer and Non-Transfer: Where We Are Now?. *Studies in Second Language Acquisition*, 2, 35-57.
- Kellerman, E. (1986). An eye for an eye: Crosslinguistic constraints on the development of the L2 lexicon. In Kellerman, E. & Sharwood Smith, M. (Eds.). *Crosslinguistic influence in second language acquisition*. 35-48. New York: Pergamon Press.
- Laufer, B. and Hulstijn, J. (2001). Incidental vocabulary acquisition in a second language: The construct of task-induced involvement. *Applied Linguistics*, 22, 1-26.
- Nation, I. S. P. (2001). *Learning Vocabulary in another language*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 荒川洋平 (編著) (2011). 『日本語多義語学習辞典: 名詞編』 アルク.
- 青谷法子 (2003). 「形容詞「重い」の意味ネットワークに関する言語心理学的研究: 高校生を対象としたアンケート調査の分析から」. 『東海学園大学研究紀要. 人文学・健康科学研究編』 8, 51-67.
- 今井新悟 (編著) (2011). 『日本語多義語学習辞典: 形容詞・副詞編』 東京: アルク.
- スリーエーネットワーク (1998). 『みんなの日本語初級I本冊perfect』 スリーエーネットワーク.
- 西内沙恵 (2015). 「スペイン語を母語とする日本語学習者による多義的形容詞への解釈に関する基礎的研究: 教材開発に向けて」. 立教大学.
- 橋本ゆかり (2007). 「初級日本語学習者の語彙知識の量的側面と語彙学習ストラテジーの関わり: ハンガリーの日本語学習者を対象に」. 『ICU日本語教育研究』4, 21-36.
- 森山新 (編著) (2011). 『日本語多義語学習辞典: 動詞編』 アルク.
- 山下喜代・岡田純子 (2012). 「日本語の語彙学習: 教材分析と意図的学習のための指導演」. 『青山語文』 42, 16-29.
- SIL によるスペイン語が話されている国・地域の数の統計調査 Languages of the World, 16th Edition, 2009. 2013年07月31日検索. <http://www.ethnologue.com/>
- 多言語辞書チュウ太. 2013年06月21日検索. <http://chuta.jp>
- オンライン辞書「電子辞書」. 2014年11月07日検索. <http://jisho.org/>

付録 1

日本語 イ形容詞 学習帳

¡Aprendamos algunos adjetivos polisémicos japoneses!

Índice

¿Cómo son de diferentes?

たか 【高い】 Y 【ALTO】	2
ちか 【近い】 Y 【CERCANO】	4
とほ 【遠い】 Y 【LEJANO】	8
ひく 【低い】 Y 【BAJO】	11
ひろ 【広い】 Y 【AMPLIO】	13

Instrucciones

significados →

notas aclaratorias →

ejercicios →

たか
【高い】 y 【alto】

	Español	Japonés	ejemplos (es)	ejemplos (jp)
dimensional	ALTO	ALTO	El techo es alto.	天井が高い。(O)
	CRECIDO	CRECIDO	los altos chopos	高いボプラの木 (O)
físico	ORIENTADO HACIA ARRIBA	x	cara alta	高い顔 (x)
	x	SALIENTE	nariz grande	高い鼻 (O)
temporal	AVANZADO	x	la alta madrugada	高い早朝 (x)
otros	SUPERIOR	SUPERIOR	alto ideal	高い理想 (O)
	NOBLE	x	las palabras altas	高い言葉 (x)
	DE MAYOR CALIDAD O VALOR	DE MAYOR CALIDAD O VALOR	altas esferas renta alta	高い階級 (O) 高い利子 (O)
	DE NIVEL O GRADO ALTO	DE NIVEL O GRADO ALTO	alta tasa de paro	高い失業率 (O)
	ELEVADO	ELEVADO	alta temperatura	高い温度 (O)

ポイント!

【高い】は<もの>と一緒に使うとき、<caro>の意味を持つことが多い。
 例えば、【高いくつ】は<値段が高いくつ>である。【高い】; 窓】は<値段の高い窓>である。
 値段ではないことを<高い>で表現するためには、【ヒールが高いくつ】[鉄分が高い窓]
 という。



練習問題I. 次の日本語が正しければ、○を()に書いてください。正しくなければ×を書いてください。

Si las siguientes expresiones en japonés son correctas, dibuje un círculo en (). Si no, marque con una cruz.

- | | |
|----------------|---------------------|
| (1) 高い機能 () | (6) 理想が高い。 () |
| (2) 高い夜 () | (7) 高い靴 () |
| (3) 地位が高い。 () | (8) 文字が高い。 () |
| (4) 高いビル () | (9) 高い鼻 () |
| (5) 物価が高い。 () | (10) テストの点数が高い。 () |

練習問題II. 同じ意味の「高い」の文のアルファベット (a-d) を選ひなさい。

Escoja un una letra (a-d) del texto de "高い" que tenga el mismo significado.

サッカーって、高いね。 ()

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| a. あの職人は高い技術を持っている。 | c. 最近の高い金がよく売れている。 |
| b. 高い声で歌う。 | d. とても高いブーツですね。歩けますか。 |

3

練習問題III. 下線部AからCの意味を書いてください。

Escriba los significados de A-C subrayados.

「高い消費税」
 2014年4月1日から、賞美税が5%から8%になった。A消費税が高くなって6ヶ月たったが、色々な問題が出て来た。売り物のB高い品質を保てない、また、内容を減らす、といった問題だ。C値段を高くすると、買い物をしない人が増えるのではないかと、店の経営者が心配しているのだ。

A. _____ C. _____

B. _____

VOCABULARIO

消費税 impuestos de consumo

品質 calidad

～を保つ conservar, preservar

内容 contenido

経営者 empresario

～を心配する preocuparse por

4